

卒業知新

2008 Nishinomiya Junior Chamber International

愛燦々

～相手を信じ、自分を信じて～



Junior Chamber International Nishinomiya(Japan)
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

社団法人 西宮青年会議所



2008年度 社団法人西宮青年会議所
第58代理事長 高山 敬

「愛燦々 ～相手を信じ、自分を信じて～」

まずもって9名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうでございます。それぞれのJC生活を終え、ホッとする反面、寂しさも感じるところではないでしょうか。皆様と様々な場面・状況下で共に活動させていただいた思い出が、走馬灯のように蘇ってくるしいでございます。これからはJC卒業生として、明るい豊かな社会の創造に向けた大きな礎となって、人生を送られる事を心より祈念申し上げます。本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

2008年度は、愛燦々～相手を信じ、自分を信じて～のテーマ・スローガンの元、活動してまいりましたが、メンバーの皆様の多大なるご尽力と深いご理解を頂きまして、本日最後の例会を迎える事が出来ました。過ぎてしまうとあっという間の1年間でしたが、その時々で大きな壁に翻弄されながらも何とか前進してきた事を思い出します。理事長としての思想言動・立ち居振舞いに始まり、理事長挨拶、理事会議長、外部との折衝、公開討論会コーディネーター等々、様々な機会を与えていただき、新しい自分と出会わせていただきました。またこの役職のおかげで、全メンバーと接する機会があり、今までの自分の固い心がほぐれ、メンバーを信じる心が芽生えたのも事実であります。自分の掲げたテーマ・スローガンではございますが、逆に皆様からその本質を教わっていただきであり、この会に対して愛を燦々と注いで頂いた事で、58年目の西宮青年会議所の活動を無事終え、次代にバトンを繋ぐ事が出来ます。次年度はそれぞれまた新しい担いがございますが、前向きな穏やかな心で「楽しさ」を見出しながら巧妙且つ大胆な活動を展開していきましょう。同じ一年は二度とはないのです。

最後になりますが、2008年度、本当にお世話になりました。また、これからも西宮青年会議所に引き続きご尽力いただきますようを心よりお願い申し上げます。どうも有難うございました。



2009年度 社団法人西宮青年会議所
第59代理事長予定者 平山 伸吾

卒業を迎えられた皆さんは、「青年会議所もある時代。」といわれる現在において、他どの団体でも無くJCを選択されました。

また、初志貫徹の精神の元、20代30代という人生の貴重な時間をJCに注がれ、JCライフを全うされて今日この日をお迎えになられました。

心よりお慶び申し上げますと共に、あらためて敬意を表します。

私は信じております。JCの本当の価値が分かるのは卒業してからであると……。

それは多方面でご活躍されている先輩方を拝見させて頂いても容易に見て取れます。

今日から皆さんは我々現役の目標となります。

JCで得た知識、理論、手法、人脈を以て、大いに人生を楽しんで頂きますようご祈念申し上げます。

私共は皆さんに、「西宮JCのOBである。」と胸をはって言って頂くべく、色んな意味で「つよい西宮JC」を創造し続けて参ります。

他どの団体でも無くJCであったこと。他どのLOMでも無く西宮であったことを真の誇りとして頂くために。

さらには、それらを完全なるステイタスと感じて頂くために精進致します。

皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、卒業にあたってのお祝いの言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとうでございます。

M 卒業生 message



順不同(敬略称)



2008年度 卒業生メッセージ 鯉田 勝紀

本当に色々な事がありました、偶然などなくすべて必然でした。新会員ではUSJで「アイーン体操」、二年目からは青少年育成委員会にどっぷりつかり、気付けばほとんどを青少年育成委員会で活動していました。途中、自分のやっていることのどこが「明るい豊かな社会を築くことか」と疑問に思い、やる気

を失った時期もありました。しかしその事がきっかけで近畿地区協議会に出向するきっかけとなり、そこでJCライフはおろか、人生における考え方を大きく変える出会いにつながり、今思えば本当に感謝すべき事でした。現役の皆様もどうか、JCで体験することには偶然は存在せず、すべて必然でかつ良い方向に向かっていくということを信じて、活動していただければと思います。最後になりましたが、心から西宮JCに感謝します。ありがとうございました。



2008年度 卒業生メッセージ 駒田 都一

2002年1月入会以来7年間、(社)西宮青年会議所の皆様には大変お世話になりました。

今年、卒業する運びとなりました。初めてJCに入会した時は、年齢が違ふ色の濃い新会員メンバーと活動をやっていけるのかどうか心配でしたが、市民まつり、11月例会と会を重ねるごとに、連帯感が深まりました。2年目は、二宮先輩の元、兵庫ブロックにセクレタリーとして出向させて頂き、同期の平山君、鳴見君とともに一年間頑張りました。去年は、予定者段階で不慮の事故に逢いましたが、広報委員会委員長として12月例会、卒業知新、対外誌の作成に委員会メンバー、室長の力をお借りし、なんとか1年間まっとうする事が出来ました。この時、委員会活動は、メンバーが居てくれて、活動が成り立つ事を強く感じました。本年度は、最終年度という事もあり、高山理事長からご指名頂いた時は、理事長の心情を察し(去年の委員会の事を思い出し)(社)西宮青年会議所に恩返しをしたく、快く引受けさせて頂きました。新入会員は10名と少ないですが、少人数精鋭の個性豊かなメンバーです、未来の西宮を担っていくメンバーと信じておりますので宜しくお願いします。また、室長の森下さん、副委員長の橘さん、運営幹事の嶋岡君、本年度はご助力有難う御座いました。短い期間ではありましたが、色々な経験させて頂きました。私は、今年で卒業ですが、メンバー皆様のご健勝、ご多幸、ご活躍を祈っております。

ありがとうございました。

卒業生に贈る言葉

小林 英明

鯉田室長、ご卒業おめでとうございます。鯉田さんには去年青少年で大変お世話になりました。特に印象的なのは、3分間スピーチと例会で、人前で話す事の指導と練習です。鯉田さんの情熱的なご指導になんとか応えたいという思いで一杯でした。3分間スピーチは失敗しましたが、例会当日なんとか乗り切れ、私にとっては非常に大きな経験・勉強をさせていただきました。昨年一年間学ばせて頂いたことを今もこれからも大切な宝としていきたいと思っております。これからも鯉田さんのますますのご発展を心より祈念いたします。

卒業生に贈る言葉

阪下 元康

鯉田さん、長年のJC活動本当にお疲れ様でした。鯉田さんと私の深い関わりは、07年に青少年の副委員長にして頂いてからです。本当に熱い熱い委員長で、人間味の溢れる方だと感じました。誰よりも委員会メンバーを想い、「メンバーの為に!」を公言し、実行されました。08年はそんな鯉田さんを目標に私も委員長を務めてきましたが、改めて鯉田さんの存在の大きさ、されてきた事のすごさを感じております。卒業されてしまうのが本当に寂しいです。たまには後輩の活躍を見に来て下さいね。お待ちしております。・・・鯉田さんの一番弟子より

卒業生に贈る言葉

平山 伸吾

確か2006年の選管の打ち上げでしたね? 私の車に選管の駒ちゃん副委員長とシミちゃん委員長が同乗していました。次年度の役員を当時の藤谷予定者に推薦するにあたり、「選管の委員長や副委員長が出来るんやったら・・・」という感じで二人に委員長を薦めたのを覚えています。少々困惑感味ではありましたが、「同期と一緒に合同会議に出よう!」という呼びかけに答えてくれたのを思い出します。私、鯉ちゃん、鳴ちゃん、みっちゃんと共に、07役員は02同期が最大人数になり、誇らしく思ったのを思い出します。人生の節目っていつになっても覚えているモンですねえ。最大の思い出は何と言っても、03二宮議長セクレタリー時の色んな事です。今から思ったらエースの思わぬ退会で我々三人のセクレタリーになってしまい、二宮さんはすごく不安になったと思います。でも僕らは楽しませてもらったけどね。今年も一緒に何箇所か公式訪問に行けた事、いい思い出になりました。おもしろいねえ、ほんの5年前はセクレタリーやったのにねえ。JCは現役の間に得ることよりも、卒業してから得るものの方が多いと思います。現役は7年であってもOBは一生です。30年? 40年? 鯉田君、橘君と共に永久の友人でいてくれる事をお願い申し上げ、卒業にあたってのお祝いの言葉とさせて頂きます。おめでとうございます。

卒業生に贈る言葉

鳴見 裕貴

駒田委員長、ご卒業おめでとうございます。入会してから7年間、早かったですね。同期入会で、最初は、あまりタイプが合わないので会話もなくお互い距離がありましたよね。そんな出会いだったのに今、喜んでこの文章を書かして頂いています。それは駒ちゃんとの必然な出会いがあり、一緒に共にしたJC活動の時間だと思えます。又2007年、2008年とJCの委員長として、頑張っている姿を拝見し、自分自身も、もっと頑張ろうと言う気持ちにいつもなっていました。この気持ちは同期の友情を越えライバルの目線であった事は事実です。最後になりますが、これからも、OBとして、西宮JCをいつまでも忘れる事なく熱い気持ちで応援していただきますようお願いいたします。



2008年度 卒業生メッセージ 嶋城 隆彦

この度、卒業いたしました嶋城です。一昨年にJCに入会しましたが、当初1年間は例会や諸行事にも参加させて頂き微力ながらもいろいろな活動を行うことができました。しかしながら、今年に入り、公私共に多忙を極め、なかなか思うように活動できなくなり、気がつけば卒業という日を迎えてしまいました。

もう少し、いろいろな活動を経験してみたかったですし、そう思うと大変残念なのですが、それでもたくさんのJCメンバーと知り合うことができた事は私にとってとても貴重な出会いであったと感じております。

わずかな活動ではありましたが、それらの経験も今後の人生の糧となるであろうと確信しております。

残られるメンバーの皆様におかれましては今後もJC活動に精力を注いで頂き、地域貢献に役立っていただきますようお願いしております。

卒業生に贈る言葉

植松 伯之

嶋城親分!!! 卒業おめでとうございます。2年間という少し短いJC生活でしたが、我々07入会メンバーの兄貴分として本当に頼りにしていましたので、卒業されてしまうのは、寂しいですね。市民祭りでは、準備段階から率先して引っ張ってくれていたのがとても印象に残っています。

けど、親分といえば、やっぱり07ナイト部門のリーダーとしての方が強いかな。忘年会やゴルフ等、同期が集まる場ではいつも親分の顔のお陰で、楽しませてもらいました。卒業しても07のイベントには必ず参加してくださいね。

卒業生に贈る言葉

嶋岡 毅

親分、2年間というあっと言う間のJC活動大変お疲れ様でございました。最初は同期とはいえ、皆、年齢も違えば職業も違うのでみんなそれぞれがなんとなくよそよそしかったような気がしますが、昨年の市民祭り、11月例会を迎えた頃には、同期が一気に一つにまとまり、それからは、ゴルフや飲み会など同期のプライベートのつきあいやすいぶんと輪が深まりましたね! 我等同期のまとめ役であり、その名も『親分』として同期の良い兄貴分の様に付き合ってもらったとうございました! これからは、卒業生として、また永遠の『親分』として見守っていて下さい。本当にJC活動お疲れ様でした!



2008年度 卒業生メッセージ 善塔 憲吾

JC歴18年というN大先輩とM大先輩に推薦して頂き、内心こんな人たちがたくさんいるのか?と少しびりながら入会し、早10年という歳月がたちました。この間には3人の子供も生まれ5人家族になり家庭もJCも仕事も充実した日々を過ごす事ができました。いろいろな委員会に所属して、毎年みんな

でテーマを決めて、話し合い計画し、実行するというのを続けてきたのですが、必ずいくつもの壁が立ちただけで、それをたくさんの人に助けられ、みんなの力で乗り越えていくという様な経験を多々させて頂きました。そしてその壁が高ければ高いほど思い出に深く刻まれ、また友情の絆も強くなったように思われます。この年になって様々な経験をさせて頂き、また、たくさんの人たちに出会うことができ、すでに卒業されたOBの方たちや現役の皆様にも心から感謝申し上げます。

長い間お世話になり本当にありがとうございました。

卒業生に贈る言葉

鈴木 康司

善塔さん ご卒業おめでとうございます。

思えば、2001年1月入会させて頂いて知り合ってから、丸8年も経つんですね。当時拡大委員会の副委員長で、いつもスーツで格好良く、輝く目から「善塔ビーム」を出しておられました。初めの内は実はちょっと怖かったですよ。

しかし、委員会に出席していくと、その細やかな気遣いと優しさでぐいぐいと我々新会員を引っ張ってくださり、僕の中では兄貴的存在となっていました。

次の年も続けて同じ委員会でした。頼りない運営幹事であった僕を副委員長立場で色々フォローして頂きました。めっちゃ一緒にいましたよね。善塔さん家でめぐちゃんら子供たちのお風呂のお世話をさせていただいたりもしました。色々ありましたが、すべていい経験いい思い出となっております。

西宮JCであなたに会えて、そしてご卒業に、「乾杯!!」

卒業生に贈る言葉

矢嶋 嘉彦

善塔さん、ご卒業おめでとうございます。善塔さんとは、私が入会した時の拡大委員会の副委員長でした。最初は、怖いかなと思ったのですが全然そんな事なく、やさしく、勇気があり、素晴らしい人でした。少し短気なところがありましたけど……。その時からJCに人生に色々勉強させていただき本当にありがとうございました。あの時の善塔さんの教えがなければ今日の私のJC活動はないと思います。感謝いたします。ご卒業されてもどうぞお付き合いを宜しくお願いいたします。最後に、長いJC活動ご苦労様でございました。これからも更なる発展を心より祈念しまして贈る言葉とさせていただきます。



2008年度 卒業生メッセージ 橋 一雄

USJで行なわれた納涼例会で入会式、そのあとの懇親会の舞台上で踊っていた人達はどこかの劇団だと思っていたら私と同じ新会員だと聞いてびっくり。新会員は踊らなあかんの？えらいとこに入ったなと思っていたのがつい先日のです。

05年は55周年担当事務局に所属。局長だった同期の鯉田さんが当時

室長の高山さんに対して繰り返される暴言と横柄な態度に、そのうちどつきあいの喧嘩になるんちゃうかと思いつつ、その光景があまりにも面白かったので私はただ静観していました。でも鯉ちゃん、あれは失礼やで！卒業式では高山さんに謝罪しときなさい。会員拡大委員会だった今年は新会員が10名とやや少なかった事に少し責任を感じておりますが今年の新会員はみな精鋭です。新会員の方々に伝えたい事は「よし、この人の為に一丁肌を脱いだらか」と思えるようなJCマンになって欲しいという事です。そんなメンバーが増えてくれば自ずとロムも発展繁栄するのではないかと思います。決して私みたいなJCマンにはならない様にくれぐれもお願いします。



2008年度 卒業生メッセージ 堤 一智

西宮JCに入会させていただき、私は多くのJayceesメンバーと知り合う機会を与えていただきました。彼らそれぞれの考え方や価値観に触れることが出来たと同時に、世界中のJayceeが同じ志のもとこの青年会議所活動に邁進していることに感動しました。

入会時、寡黙でつまらなさそうに

委員会に参加している私に対して時の拡大委員会メンバーの皆さんがJCの素晴らしさについて説明してくださいました。そのことに感動しJC活動に取り組むきっかけになったことが昨日のこのように思い出されます。

JCの素晴らしい理念一積極的な変化を創り出すために必要な、指導力の開発、社会的責任、起業家精神、及び友情を深めるために青年に機会を与えることによって地球社会の発展に寄与し世界の恒久平和を実現する。

多くの仲間や先輩に支えていただきながらこうして卒業を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

卒業生に贈る言葉

北川 泰寿

同じ甲南出身で、同級生の宮本誠二郎さん・伊藤京一さんより一年先輩という縁の中、同窓の側面からもご卒業に些か寂しさを感じます。同じ委員会になったのは入会翌年、徳田さんが委員長努め現在専務理事の平田さんが入会して配属された、拡大委員会だったと記憶しています。他の14年入会メンバーには次年度理事長予定者、平山さんを始め多くのメンバーが役員になる中、互いにマイペースでやって来たこの6年。JCIの中でも特に親近感を持つ橋さんとの今後とも変わらぬ長い付き合いを期待しております。また夙川で飲みましょう！ご卒業おめでとうございます。

卒業生に贈る言葉

宮本 誠二郎

ご卒業、おめでとうございます。

そして長年のJC活動、お疲れ様でした。

とっても熱心(?)にJC活動をされていた先輩との出会いは、僕が新会員の時の拡大委員会でご一緒した時だったと思います。(と言っても、学校が一緒だったので、高校のころから顔は知っていましたけど…)先輩との一番の思い出は、西宮で開催した兵庫ブロック会員大会での出来事です。

当時、僕は会員大会事務局長をやらせて頂いていましたが、その際、飲食ブースの設営と運営を一手に引き受けてくださいました。普段の先輩のJC活動からは想像出来ないほど、かっこよかったです(笑)卒業してしまうととっても寂しくなりますが、お暇があれば是非、遊びにきてくださいね。

卒業後の多方面でのご活躍、心より楽しみにしています。

卒業生に贈る言葉

高山 敬

1998年1月にご入会以来、12年間青年会議所運動に貢献され、本年晴れてご卒業されます事を心よりお慶び申し上げます。私が新会員の頃、高校の先輩後輩という事もあって色々とお話をさせていただき、導いてくださった事は記憶に刻まれており、その事が励みとなり現在があると感じております。また、日本JCに数多くご出向された事による経験が本年最終年度に花開き、JCI関係委員会副委員長という大役を担われ無事終えられた事は、輩出LOM理事長として誇りとするところです。まだまだ青年会議所運動に邁進されたいお気持ちもあるとは思いますが、ここで一区切りとされまして、我々に引き継いでいただきたいと思います。これからは今までの経験・体験を下に、JC卒業生として明るい豊かな社会を築く大きな礎として、人生を歩まれることを心より祈念しております。長年の活動、本当にお疲れ様でした。ご卒業おめでとうございます。

卒業生に贈る言葉

小林 望

Kazさんには、08JCI関係委員会で今年お世話になりました。京都會議、ASPAC、全国大会、世界会議を終え同じ時間を過ごし、Kazさんの隠れたOMOIYARIとOTOKOGIを見せて戴きました。絶対一年では味わえない、JCIの楽しさ、友情の大切さ、そして感動。あとグローバルな女性の口説き方・連込み方を教えて戴きました。そして、行き先長い私のJCライフに起点を齎してくれました。一年間幹事として役に立ちませんでしたが、Kazさんから受継いだ出向侍魂忘れません。オジKaz成ってもHello Againしましょう。本当に有難うございました。



2008年度 卒業生メッセージ 浜崎 大

2004年に入会させていただきました。1月入会だった事もあり京都会議が最初のイベントでした。寒い中はっぴを着て訳のわからないまま、「いらっしゃいませ」はたして僕はこの団体になじめるのだろうか?と疑問を感じたことを覚えていています。2004年足立委員長、2005年大野委員長、2006年宮

本委員長、2007年吉岡委員長、2008年阪下委員長の方々にお世話になり、なんとか卒業まで残れた事を感謝しております。そして、西宮JCに大事な物をいっぱい頂きました。ゴルフ友達、飲み友達、熊本旅行と青少年キャンプの思い出でなどいっぱい。皆様本当に有難うございました。



2008年度 卒業生メッセージ 東村 将徳

入会当初、とても立派な諸先輩に囲まれ憧れていました。気が付けば40歳になり、遠く及ばないまま西宮青年会議所を卒業となりました。『もしJCに入っていなかったら…』と最近よく考えます。菓子屋の狭い世界の中で仕事をして、人生を歩んでいましたが、大きな社会は覗いていたものの、身近な市や街や人々については、何も考えていません

でした。年齢も職業も社会的地位も別々の人々が集まり、志を同じくして一緒に懸命取り組むこの団体は、私の人生感を大いに変え、そして豊かなものとしてくれました。

今年、はじめての全国大会に参加し(9年越しです)、全国のJCマンが集い本気で日本を語っている姿に、心より感動を覚えました。今日を憂い、自分が出ることは何か、自分を鍛えてくれることは何か、真剣に議論をしているJCマンの姿を見て、戻れない過去を振り返り卒業を残念に思いました。

私は、仲間思いの優秀な同期に加えてもらい、そして支えてもらい、たいへん幸せ者だと思えます。かなり世間知らずで曲がった性格は、みんなのお陰をもって少しはまともになったのではないのでしょうか?また、諸先輩はじめ口元の皆さんには、いつもご指導頂きお付き合い頂き、心より感謝しております。この場を借りて御礼申し上げます。

最後に、60周年に向けて次年度平山丸が、風を切り波を蹴って邁進し、いっそう輝く西宮JCになることを切にお願いし、そしてご期待を申し上げます。

卒業生に贈る言葉 外園 正太

浜サン卒業おめでとうございます
浜サンの生き方私はスゴク好きです
これからも変わらず明るい浜サンで居てください
JC生活お疲れ様でした

卒業生に贈る言葉 山戸 一成

浜崎さんで卒業おめでとうございます。同期同月入会の仲間としてまた人生の先輩として5年間ありがとうございました。ベンチャーで仕事をしているきちんとして冗談を言わない浜さん、JCでたんたんとした浜さん、セミプロ? 趣味?(車のレースや野球等)の話をしている子供のような浜さん、そして飲み会(しらふ?)!!!の時の浜さん。たくさんの顔を持つ浜崎さん、「こんなメリハリのある人がいるんや」と感心させられました。これからも遊びに飲みと付き合いをお願いします。これからもご活躍お祈り申し上げます。

卒業生に贈る言葉 高橋 正佳

前略、ヒガちゃん様
オシャレな細身スーツを身にまとい、発する言葉には妙に説得力がある。難しい話から馬鹿げた話まであらゆる分野に長けた知識。二枚目だけど実はかなりの太鼓腹。そんな格好良くておちゃめなヒガちゃん、ご卒業おめでとうございます!我ら同期会の中でも、共に分析派という面では同じ匂いを感じておりました。まあ、あなたには到底かかないませんが、JCを卒業されてもお仕事がお忙しいとは思いますが、ただまたお相手お願いしますね。あなたにはまだまだ教えていただきたい事があります。ああ、あなたと同期で本当に良かった。心からそう思います。えっ?同期の平均身長を下げているのは誰かって?そんなことはどうでもいいでしょ!お疲れ様でした♪

卒業生に贈る言葉 高橋 秀仁

ご卒業、誠におめでとうございます。2000年に同期で入会して以来、はや9年が経ちました。その間に大変お世話になりました。委員長と委員会メンバーとして、また同じ副委員長として何度も同じ委員会になり、そのたび東村さんの豊富な知識と的確なご意見で私は幾度となく助けられました。お仕事の都合で限られた時間内の活動でしたが、いつも独特の存在感を発揮されていました。同期で最年少の私にとって、東村さんは困ったときに最適な判断がもらえる「クールなかに熱いハートをもつ、頼れる兄貴」でした。今後も、先輩として、よき仲間として、どうぞよろしく申し上げます。



2008年度 卒業生メッセージ 森下 和尚

2005年1月に入会し、丸4年間在籍させて頂きました。振返ればアツと言う間に過ぎたように感じています。事業を通じていろんな経験をさせて頂いたこと、たくさんの方に出会えたこと、今は西宮JCに入会して本当に良かったと感謝の気持ちでいっぱいです。

07年には会員研修委員会の委員長を務めさせて頂きました。初委員長と言うこともあり戸惑いだらけでしたが、最高の委員会メンバーに恵まれ、助けられ無事一年を全うする事が出来ました。

現役メンバーの皆様には、卒業時に悔いの残らないよう精一杯JC活動を楽しんでいただけたらと思います。

最後になりますが、4年間で関わっていただいた皆さん本当にありがとうございました。

卒業生に贈る言葉 遠藤 剛

まずもって、少し短いJC生活お疲れ様でした。同期としての4年間のうち3年間は同じ委員会そして最終年度は、委員会の室長として一緒にJC生活を経験させて頂きましたが、森下さんからは沢山の事を学び取る事ができました。会社の事や私生活、そしてJCの事など色々二人で居酒屋で飲んだり委員会で討論した事を、昨日の事のように覚えています。JCを卒業されてからも、長い付き合いが出来る真の友人と思っています。卒業後は、祭り実行委員会や他団体での今後のご活躍を期待しております。

卒業生に贈る言葉 平田 裕之

森下さんで卒業おめでとうございます。2005年同期メンバーのなかで、神田さんに次ぐ2番目の卒業生ですね。森下さんと初めて会ったのは、2004年の11月に、紹介を受けたのが初めてで、拡大委員長予定者として、初めて担当する新会員でした。入会後は、兵庫BL西宮会員大会、55周年、全国姫路大会では、自動車の誘導役を快く担当してくれたことを思い出します。また、なんと言っても忘れられないのが11月度例会です。会社を委員会会場として提供いただき、100%出席で一年を過ごされ、同期のまとめ役といった印象が強かったです。それから、2005年入会メンバーの中心として、委員長、室長を歴任され、にしのみや市民祭りでは、事務局長も努めて頂き、いつも無理を聞いてくれたことに感謝します。社団法人西宮青年会議所にとっても重要な役割を担ういただきました。

ご卒業されても、JC活動の経験を活かし社会人として、また2009年にしのみや市民祭りの実行委員長として、さらに飛躍されることをご祈念申し上げます。



監事講評 (一年を振り返って)

2008年度監事 大野 稔

みなさまにとって、この一年どのようなJCだったでしょうか？
卒業生のみなさま、あなたのJCライフはどのようなものだったでしょうか？
例会には、何回出席しましたか？それ以外の事業には？各種大会には？....
個人個人にとって、さまざまな、JCライフがあったと思います。
しかし、何のためにJCに在籍しているのでしょうか？
在籍し続けているのでしょうか？
在籍していたのでしょうか？

JC自体の目的は、明るい豊かな社会を築くために...とありますが、みなさんもそうでありたいと思っ

ていますか？ もちろん、そうあってほしいところですが、実際は？ですね。

しかし一つだけ言えることがあります。メンバーであり続けるということは、

例会に参加すること！ 西宮青年会議所が行う事業に参加すること！ ではないかと思ひます。今からでも遅くはありません、JCライフの残っているメンバーは、なんとか時間を作って、40歳までのJCのあらゆる活動に、必死に参加してください。そして、卒業生のみなさまは、もう逃げられません(笑)。西宮青年会議所のOBとして、十二分に、関わっていただければと思ひます。

みなさま一年間おつかれさまでした！

ありがとうございます。







まずは9名の卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業知新を作成するにあたり卒業生の皆様のコメント、卒業生の皆様に対する贈る言葉を拝見していると、各々のJC生活の濃さが少し垣間見えた気がしました。卒業されるとなにかと寂しさを感じることも多いのではないのでしょうか。それぞれのJC生活、それぞれの皆様が共有された時間が言葉として凝縮されているので紙面上だけでは到底お伝えしきれないと思います。そんな時、この知新を読み直していただき皆様が西宮JCマンとして活動してきた熱き時間を思い出していただけると幸いです。これからも卒業生として、60年、70年と受け継がれていく志のバトンを見守っていただければと思います。

最後になりましたが2008年度、不慣れな初委員長で何かとご迷惑をおかけしましたが本当にお世話になりました。



社団法人 西宮青年会議所

〒662-0854 西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館5F

TEL 0798-33-1615 FAX 0798-26-5202

URL <http://www.nishinomiya.jc.or.jp>

E-mail: info@nishinomiya.jc.or.jp

since 1950



Junior Chamber International Nishinomiya(Japan)
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs